

## シート張り工法（北広島町版）

ブルーシートに重し土のうを取り付けた状態で河川へ投入し、川側斜面を直接保護する深掘れ（洗掘）防止工法のひとつ。

利点	汎用材料を用いて人力で作製することができる。
欠点	シートを被災箇所にも密着できないと効果が得られないため流速の速い河川での適用は困難。

[ポイント] シートがあおられないよう、重し土のうを確実に取り付けることが重要。



### ■標準的な必要材料（ブルーシートの大きさ 3.6m×3.6mの場合）

材料名	材質	数量	規格		
			長さ、幅×長さ	厚さ、直径	
シート	PE製ブルーシート	1枚	3.6m×3.6m	#3000以上	
土のう	土のう袋	PE製	24袋	62cm×48cm	—
	中詰め材	真砂土	20kg	—	—
杭	木杭（先尖げ済み）	5本	0.6m～1.0m	Φ40mm程度	
ロープ類	身体確保用	綿製	1本	15m	Φ10mm
	シート用	PP製	1巻	30m程	Φ6mm～8mm

[ポイント] 材料は実施場所の特性や入手のしやすさを踏まえ選定する必要があります。

■使用する器具類

器具名	用途
鉞（なた）、かま、カッター	ロープの切断
剣先スコップ	土のうの中詰め
掛矢（かけや）	木杭の打込み

■シート張り工法（北広島町版） 参考図

